

プレゼン：3月10日 A会場 11:15～ 企業を超えた新ビジネスモデル

対象業務の現状と取組み

「生産設備の故障予知」と「生産現場の運用改善」により設備メーカーのサービス向上

【現状課題】

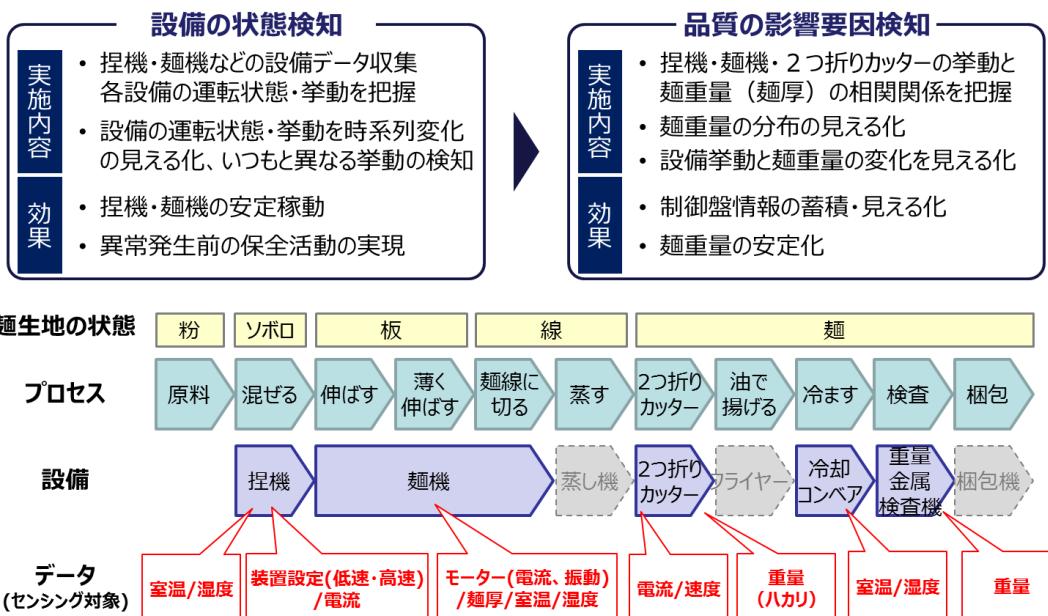
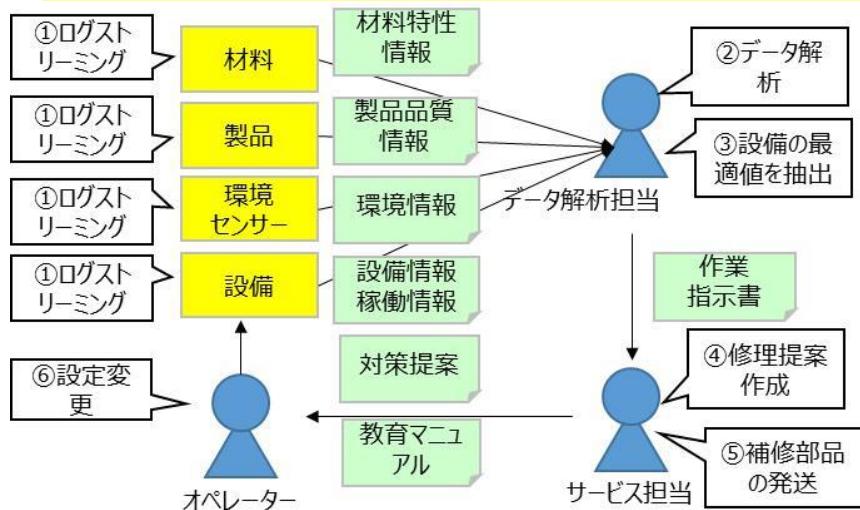
- ①設備故障発生後の対応による、修理/再稼働のダウンタイム発生
- ②製造条件が最適でないことでおきる製造不良による、品質損害の発生

【取組み】

設備納入先の「工場の見える化」「設備の故障予知」「補修部品の最適化」を実現し、さらに「製品品質の安定化」「製造原価の低減」につなげる仕組みづくり

実証実験・業務シナリオ (TO-BE)・成果

「大竹麺機」製 設備納入先 (イトメン株式会社) にて実証実験



- ・遠隔地から設備状態・挙動を監視でき、品質改善につながる知見が得て、次のアクションにつながった
- ・実際のお客様と取組むことで実証実験の枠を超え、製麺業界へのIoT適用に向けた取組みになった

【ファシリテータ】 日本電気
 【エディタ】 アビームシステムズ
 【メンバー】 大竹麺機、三菱電機、NTTコミュニケーションズ、中村留精密工業、サトー、ニコン、アビームコンサルティング

